

たまりば〜通信

(通算59号)

2015年12月30日発行

◆ 今月の「たまりば〜」は・・・

年に一度の「ピング大会」です。豪華景品(?) 目当てではないと思いますが、新しい方も来られ、イベント気分できげやかな「たまりば〜」でした。

年末と言うことで、前向きな挑戦や希望も語られた「たまりば〜」でした。Aさんは鉄道を用いた九州旅行に挑戦されたそうです。九州は遠いところで、グリーン車は車椅子が通れないなどいろいろ大変な思いもされたようですが、時刻表で調べることが良いリハビリになったり、各地で親切な係員さんと出会ったり、良い思い出となったご様子でした。聞いているわたしも、「肥薩線」「ゆふいんの森」といった単語に、「・・・いいなあ」と旅情をかきたてられました。

てんかん発作に悩むBさんは、いつ発作が起きるかわからないので、普段は自家用車での移動ですが、この日は公共の交通機関を用いて来られたとのこと。お母様は「ハラハラドキドキ」、ご本人も「いつ電車止めちゃうか、わからない」とのことです。かなり勇気のいる移動になったようですが、無事に到着されました。きちんと服薬していてもてんかん発作が起きる高次脳機能障がい者は多いのですが、発作が終われば1時間くらいで元通りに回復する場合がございます。もしも街や交通機関でそのような方を見かけたら、暖かいご支援・お声掛けを、よろしくお願ひいたします。

また、すでに就労継続支援B型施設などに通われている方たちから「就職したい」という声もたくさん聞かれました。それぞれの方が置かれた状況のなかで、就労に向けて自分なりの努力を重ねておられることも伝わってきました。来年から「就労移行支援」に通われる方もいらっしゃいます。来年は、皆さまが良い出会いに恵まれますように、そして「たまりば〜」がこれからも無事に続きますように・・・と祈っています。一年間ありがとうございました。(ま)

A Happy New Year!



ミニエピソード

「奥さんがいない時、Tさんはすごくしっかりしていましたよ。家族はあまり本人のそばにいないほうがいいのかもかもしれませんね・・・。」

「妻がいると、何かあるとすぐ妻の顔ばかり見てますからね・・・。」

「でも介護保険の認定調査のときは、家族が問題点を説明しないと調査員の方にわかってもらえませんね。」

「メモにまとめて渡すといいですよ。」

「介護の大変さを訴えたら、要支援にならず要介護がついて、ほっとしました。」

① インフォメーションルーム

- ◆ 次回の「たまりば〜」は1月24日(日) 13時から、いつも通り蒲田寺子屋で行います。高次脳機能障がいに関心のある方ならどなたでも参加OKです。また、合唱したい曲や、俳句・イラストの投稿もお待ちしています。あて先は以下の「蒲田寺子屋」までどうぞ。

『たまりば〜』は、フォーラム大田高次脳が運営しています。毎月第4日曜日13時から、蒲田寺子屋(大田区多摩川1-21-21)で開催します。当事者、家族、その他どなたでも参加できます。参加費(お茶代)200円。お問い合わせは蒲田寺子屋(Tel/Fax 03-3750-6870、電話は木金土のみ、メール kamataterakoya@live.jp)までお気軽にどうぞ。